

## 2 平成20年度の進捗状況

### (1) 基本目標1 未来に手渡す 素晴らしい地球を守るまちづくり（地球温暖化防止の推進）

I-1	個別目標	家庭における省エネルギーの推進（担当：商工労働観光課・環境保全課）			
数 値 目 標	数値目標		現状の実績（20年度末現在）	進捗 状況	数値目標 担当課
	家庭版EMS「掛川市民環境愛そう（ISO）」延べ参加家庭数を1,444世帯まで増加させる。		平成20年度末 716世帯	A	環境保全課
	平成17年度 444世帯	平成27年度 1,444世帯			
番号	事業名	目的	20年度実績	進捗 状況	課名
1	家庭版環境愛そう事業	地球温暖化防止を市民レベルで進めるため、掛川市、静岡県及び静岡県地球温暖化防止活動推進センターが協働で、各家庭での省エネ活動実践を支援するプログラムを行う。	家庭生活における、省エネ省資源の生活実践推進活動を実施した。 参加登録家庭数 74家庭 二酸化炭素削減量 1,164kg-CO2 (ペットボトル2L 31.2万本分)	A	環境保全課
2	環境愛そう(ISO)キッズ	日常生活における環境保全に配慮した行動を保護者・家庭内に広げることを目的に、年間4回「環境家族会議」を開き、電気使用量、待機電力機器、ごみ箱、エコマークの調査を小学生5年生対象に実施。	全4回の環境家族会議を計画通り実施した。実施方法や内容の見直しを行った結果、全4回の会議に参加した家庭数は対象1,167世帯中338世帯で、昨年度の実績337世帯をわずかに上回った。 4回全て参加した生徒338人には環境を考える市民のつどいで参加証を授与した。	A	環境保全課
3	環境ウォッチング	日常生活における環境保全に配慮した行動を進め、それを保護者・家庭内にまで広げるきっかけとすることを目的とし、教育委員会と協力し、市内小学4年生を対象に実施。	市内23校の小学校4年生、1,083人を対象に実施し、うち866人が参加した（参加率79%）。 生活の中でごみ分別、省エネに関する取り組みを実践し、自己チェックを3週間行った。	A	環境保全課

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。

I-2	個別目標	交通・移動における省エネルギーの推進 (担当：都市整備課・総務課・環境保全課)			
数 値 目 標	数値目標		現状の実績 (20年度末現在)	評価	数値目標 担当課
	市が保有する公用車の低燃費車両、ハイブリッド車の割合を向上させる。		平成20年度 43.1%	A	総務課
	平成17年度 22.8%	平成27年度 75.0%			
番号	事業名	目的	20年度実績	進捗 状況	課名
1	環境基本計画の周知と運用	環境に関する市の施策を掲げた行政計画であると同時に、目標達成のための市民、事業者等に望まれる取組について明示した行動計画であるため、広く周知して環境配慮活動の推進を図る。	ホームページに引き続き内容を掲載中。 平成19年度に環境基本計画の行動計画である「地球温暖化対策地域推進計画」を策定し、自治会や事業者に対して説明会を開催した。  ※平成18年度に概要版（市民向け・事業所向け）を作成し、全戸配布済み	A	環境保全課
2	環境ISO推進事業	市役所の事務事業や発注業務を環境保全の視点から評価し、環境への影響を極力減らすとともに、環境に有益な事業を推進するため、EMSであるISO14001を運用管理する。 ・システム運用と維持管理 ・職員教育の実施 ・認証の更新審査（3年に一度）	サイト内のシステムは、現状を大きく変えず熟成度の向上を図った。結果として紙（7.1%）と電気（1.6%）は増加となり、ガス（12.1%）、上水（13.6%）、ごみ（47%）はそれぞれ削減ができた。 サイト外においてもサイト内職場と同様に紙・ごみ・電気の削減についてPDCAのシステムを導入し、計画的に管理を行っている。さらに、2年ぶりに一般職員研修を開催し、EMSや地球温暖化の現状について啓発を図った。	A	環境保全課
3	地球温暖化対策地域推進計画策定	掛川市域の温室効果ガス発生抑制のため、自然的社会的条件を加味した「地球温暖化防止地域推進計画」を策定する。	「掛川市地球温暖化対策地域推進計画～“かけがわ地球との約束”行動計画～」の概要版を作成し、約250回にわたり自治会向けの説明会を開催し、計画の啓発を行った。	A	環境保全課

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。

I-3	個別目標	企業・森林での地球温暖化防止（担当：商工労働観光課・農業振興課・環境保全課）			
数値目標	数値目標		現状の実績（20年度末現在）	評価	数値目標担当課
	木材蓄積量を年間20,000m <sup>3</sup> 増加させる。		平成20年度の増加量は26,706m <sup>3</sup> で、累計が2,147,696m <sup>3</sup> となった。	A	農業振興課
	年間	20,000m <sup>3</sup>			
番号	事業名	目的	20年度実績	進捗状況	課名
1	市民力による環境ISO推進支援事業	ISOやEA21等の取得・運用についてアドバイス等を行える市民を募集し、希望事業所へ市が仲介することで、環境マネジメントシステム取得・運用の支援を行う。	ISOボランティア事業として、事業所のEA21取得支援を中心として、市役所や環境資源ギャラリーのEMS維持管理にも従事してもらった。 掛川市役所のEMS推進について、推進員・実行責任者に対する研修会を2回実施した。	A	環境保全課
2	エコアクション21認証一斉取得支援	ISO14001と比較し人的・物的コストが安く、取り組む内容が平易なEA21について、認証取得希望事業所に対して無償コンサルティングすることで、認証の取得を支援する。	自治体イニシアティブ事業として実施し、19社が参加した。（うち掛川市15社） 20年度末時点で、9社が認証取得済み、6社は継続中、3社は中止、1社は未定である。	A	環境保全課
3	地球温暖化防止実行計画（スマート・オフィス・プラン）	市の事務及び事業に伴い排出される温室効果ガスを抑制するため、市が管理する全ての施設において、削減のための行動実践計画の進行管理を行う。	市のEMS管理と平行し管理している。 サイト内外の職員が、毎月「省エネ省資源チェックシート」を使い自己チェックにより管理している。 国の温室効果ガス削減目標の見直しに合わせ、21年度中に計画の改訂を行う。	A	環境保全課
4	（新）新エネルギー導入研究事業	19年2月に策定した、掛川市地域新エネルギービジョンをもとに、新エネルギーを積極的に推進することを目的とし、市内における新エネルギー導入の研究や市民、事業者、環境団体に対して新エネルギーの情報提供を行う。	新エネルギーについての相談窓口の設置。自治会での新エネルギー学習会の実施。	A	環境保全課
5	（新）環境ISO・EA21認証取得事業所連絡会	ISO14001・EA21を取得している市内事業所の連絡会を設置し、地球温暖化防止をはじめ環境全般に関する情報交換の場とし、市内の環境配慮活動の推進と啓発を目的とする。	6月に第1回全体会を、9月に第2回全体会を開催。11月には県外視察研修を実施した。また、参加事業所には、「地球温暖化対策地域推進計画」の説明会を実施すると共に、STOP温暖化パートナーシップ協定を呼びかけた。	A	環境保全課

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。

番号	事業名	目的	20年度実績	進捗状況	課名
6	造林事業補助金、流域公益保全林等整備事業、森林整備地域活動支援事業、流域循環資源林整備事業、しずおか林業再生プロジェクト推進事業、市民の森管理事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・枝打ち、間伐、除伐等の森林整備に対する支援</li> <li>・市有林を展示林化し、行政と市民が一体となり森林を保全し、自然とのふれあいの場を確保する。</li> </ul>	枝打ち、間伐等225.65haの森林整備に対し支援。 市有林の枝打ち及び下刈り等の森林整備を1.92ha実施。	A	農業振興課

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。

I-4	個別目標	新エネルギー利用の推進<太陽光、太陽熱、風力> (担当：商工労働観光課・総務課・環境保全課)			
数 値 目 標	数値目標		現状の実績 (20年度末現在)	評価	数値目標 担当課
	住宅用太陽光発電施設設置件数 (中部電力 (株) 契約数) を100件/年 増加させる。		新規契約件数 70 件 契約kw 140 kw	A	環境保全課
	平成16年度 334件	平成27年度 1,334件			
番号	事業名	目的	20年度実績	進捗 状況	課名
1	新エネルギーフォーラム	エネルギー面から自然環境を見直して、地球温暖化の抑制など地球環境を考える機会として新エネルギーや省エネルギーの普及・啓発を図るため、および環境保全委員等の研修会として講演会を開催する。	参加者570名 内容：講演「太陽光発電と風力発電の現状と Co2削減効果について」 日本大学 准教授 長井 浩氏 事例発表：「見直そう！太陽熱利用」 吉広孝行 氏 「太陽光発電所から環境教育へ」 松下 修 氏	A	環境保全課
2	エコ桜が丘 (環境学習委託)	NPO法人エコゾーアクション桜が丘の会と住民と市が協働して、桜が丘中学校区内において環境学習を推進して地域環境力を高め、環境に配慮したまちづくりを行う。	地域イベントにおける、環境ブースの出展や小中学校の授業における環境学習の実施、環境講演会の実施など地域環境力の向上につながる事業が実施できた。 実施例：児童生徒による環境作品展、地域文化祭との合同環境イベント、中学校での環境授業	A	環境保全課

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。

I-5	個別目標	新エネルギー利用の推進<バイオマス・その他> (担当：農業振興課・総務課・環境保全課)			
数 値 目 標	数値目標		現状の実績 (20年度末現在)	評価	数値目標 担当課
	新エネルギー (バイオマスその他) に関する学習会を年1回以上開催する。		新エネルギーフォーラム(1月14日) 環境を考える市民の集い(3月1日) 曾我地区環境保全委員研修会 など	A	環境保全課
番号	事業名	目的	20年度実績	進捗 状況	課名
1	大井川エコバレー掛川水 素プロジェクト	静岡県の新エネルギーの導入モデル地区として、バイオマス資源や風力発電施設の立地条件に恵まれた地域で、多様な主体の協働により、新エネルギー導入のアクションプランを作成し、事業展開を図る。	県森林組合・企業・県・市(環境保全課、農業振興課)で構成した研究会を設立した。 1回実施 参加10団体	A	環境保全課
2	菜の花プロジェクト	菜の花などの地域資源を活用し、地球温暖化の防止、新エネルギーの普及、農業の再生等を行う。県内の菜の花資源循環システム実践者及び関係団体の連携強化と情報交換を行う。市窓口は、農業振興課と環境保全課。	農事組合法人「大東農産」による菜の花栽培にあわせて、菜の花資源循環プログラムが進められている。この一環として、4月19日に菜の花コンサートを大東農産、小中学生、地域住民が参加し開催された。	A	農業振興課

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。

(2) 基本目標 2 資源の有効活用で持続可能なまちづくり

II-1	個別目標	ごみ発生量の抑制 (担当: 総務課・商工労働観光課・環境保全課)			
数値目標	数値目標		現状の実績 (20年度末現在)	評価	数値目標担当課
	一人一日あたりのごみの排出量を減少させる。		平成20年度 679g	A	環境保全課
	平成16年度 742g	平成27年度 682g			
番号	事業名	目的	20年度実績	評価	課名
1	マイバッグ運動	マイバッグ持参率調査の実施。消費者協会等との連携によるマイバッグキャンペーンの実施。 H20予定 持参率調査 (年4回)	持参率調査は、消費者協会・市で4回実施。スーパー17店舗、生活雑貨1店舗 持参率は94.5% ドラッグストアでのマイバッグ運動推進の啓発運動	A	環境保全課
2	生ごみ堆肥化推進事業	生ごみ処理容器講習会の開催と堆肥化資材を配付する。 H20予定 講習会 年35回※20人/回、配付資材 (山土、チップ、籾殻等)	生ごみ処理容器講習会の開催と堆肥化資材を配付する。H20実績 講習会 (年51回)、配付資材 (山土、チップ等)	A	環境保全課
3	生ごみ処理機等購入費補助金	生ごみ処理機又は処理容器を購入した方に対し、購入費用の1/2 (補助限度額20,000円)を補助する。 H20予定 電気式140基、非電気式20基	生ごみ処理機又は処理容器を購入した方に対し、購入費用の1/2 (補助限度額20,000円)を補助する。 電気式 116基 非電気式 19基	A	環境保全課
4	剪定枝等地区回収事業	家庭から排出される剪定枝等を地区単位で回収し、木くずの処理業者において再資源化処理を行う。 H20予定 収集回数500回、処理量1,000,000kg	家庭から排出される剪定枝等を地区単位で回収し、木くずの処理業者において再資源化処理を行う。 H20実績 処理量1,398,800kg	A	環境保全課
5	剪定枝等処理事業費補助金	家庭から排出される剪定枝等の処理を行う木くずの処理業者に対し、市の処理手数料を超える処理費分を補助する。 H20予定 搬入量1,060,000kg	家庭から排出される剪定枝等の処理を行う木くずの処理業者に対し、市の処理手数料を超える処理費分を補助する。 H20実績 搬入量685,835kg	A	環境保全課

6	一般廃棄物処理業の許可	廃棄物処理法第7条の第1項又は第6項に基づき、一般廃棄物収集運搬業又は処分業の許可を行う。 H20予定 31件（収集運搬9件・し尿1件）	廃棄物処理法第7条の第1項又は第6項に基づき一般廃棄物収集運搬業又は処分業の許可を行う。 H20実績 掛川市全域31件 （収集・運搬11件、中間処理3件、し尿1件）	A	環境保全課
7	ごみ収集運搬事業	家庭から排出される燃えるごみ、燃えないごみの収集運搬を実施する。 H20予定 掛川区域7台、大東・大須賀区域3台	家庭から排出される燃えるごみ、燃えないごみの収集運搬を実施する。 H20実績 掛川区域7台、大東・大須賀区域3台	A	環境保全課
8	ごみ集積所設置等補助金	ごみ集積所の設置又は修繕を行う自治区に対し、対象経費の2/3（補助限度額180,000円）を補助する。 H20予定 新設15基、修繕54基	ごみ集積所の設置又は修繕を行う自治体に対し、対象経費の2/3（補助限度額18,000円）を補助する。 H20実績 新設12基、修繕39基	A	環境保全課
9	環境保全センターの管理運営	大東・大須賀区域の可燃ごみの焼却処理と不燃ごみの処理を実施する。 H20予定 可燃ごみ搬入量6,775 t （市収集4,813 t、直接搬入1,962 t） 不燃ごみ搬入量 250 t （市収集185 t、直接搬入65 t）	大東・大須賀区域の可燃ごみの焼却処理と不燃ごみの処理を実施する。業務終了のため、6月処理終了（受付は3月終了） H20実績 可燃ごみ搬入量5,558 t （市収集4,517 t、直接搬入1,041 t） 不燃ごみ搬入量 338 t （市収集175 t、直接搬入163 t）	A	環境保全課
10	最終処分場の管理運営	板沢、新井、高瀬、東大谷、本郷最終処分場の管理運営を行う。 H20予定 板沢搬入量2,000 t、新井搬入量100 t、高瀬搬入量300 t、東大谷搬入量150 t	板沢、新井、高瀬、東大谷、本郷最終処分場の管理運営を行う。 H20実績板沢搬入量2,980新井搬入量50 t、高瀬搬入量240 t、東大谷搬入量32 t	A	環境保全課
11	ごみ減量とリサイクル先進モデル事業所	ごみ減量とリサイクルを積極的に取り組んでいる事業所をモデル事業所として登録する。モデル事業所連絡会を開催する。 H20予定 登録数 1社（計19社）、連絡会2回実施。	ごみ減量とリサイクルを積極的に取り組んでいる事業所をモデル事業所として登録する。モデル事業所連絡会を開催する。H20実績登録数 0社（計18社）、連絡会2回実施。	B	環境保全課
12	クリーン推進員	各自治区にクリーン推進員を設置し、排出マナーの向上を図る。 H20予定 委嘱数654人 研修会（4月）、視察研修（6・7月実施）	各自治区にクリーン推進員を設置し、排出マナーの向上を図るための研修会、視察研修を実施した。 H20実績 委嘱者数654人 研修会（4/28：生涯学習センター約1,100人参加 ※一般参加者を含む）視察研修（6/25・26 7/2・3：静岡市 173人参加）	A	環境保全課



13	ごみ分別ポスター、マニュアル、カレンダー作成	適正なごみ出しの徹底を図るため、マニュアル等を作成し全戸配付する。 H20予定 掛川区域（マニュアル35,000部、カレンダー35,000部）、大東・大須賀区域（マニュアル12,000部、カレンダー12,000部）、外国語版（ポルトガル語、英語、スペイン語、中国語、韓国語、タガログ語）	適正なごみ出しの徹底を図るため、マニュアル等を作成し全戸配付する。H20発注 掛川区域（マニュアル35,000部、カレンダー35,000部）、大東・大須賀区域（マニュアル12,000部、カレンダー12,000部）、外国語版（ポルトガル語、英語、スペイン語、中国語、韓国語、タガログ語）	A	環境保全課
----	------------------------	--	--	---	-------

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。

II-2	個別目標	リサイクルと省資源の推進（担当：総務課・商工労働観光課・環境保全課）			
数値目標	数値目標		現状の実績（20年度末現在）	評価	数値目標担当課
	ごみのリサイクル率（資源物回収＋集団回収／ごみ総量）を36%にする。		平成20年度 34.8%	A	環境保全課
	平成16年度 28.3%	平成27年度 36.0%			
番号	事業名	目的	20年度実績	評価	課名
1	剪定枝等地区回収事業	2-1再掲 家庭から排出される剪定枝等を地区単位で回収し、木くずの処理業者において再資源化処理を行う。 H20予定 収集回数500回、処理量1,000,000kg	家庭から排出される剪定枝等を地区単位で回収し、木くずの処理業者において再資源化処理を行う。 H20実績 処理量1,398,800kg	A	環境保全課
2	剪定枝等処理事業費補助金	2-1再掲 家庭から排出される剪定枝等の処理を行う木くずの処理業者に対し、市の処理手数料を超える処理費分を補助する。 H20予定 搬入量1,060,000kg	家庭から排出される剪定枝等の処理を行う木くずの処理業者に対し、市の処理手数料を超える処理費分を補助する。 H20実績 搬入量685,835kg	A	環境保全課
3	資源化物回収活動奨励金	古紙の集団回収活動団体に対し、1kgにつき5円の奨励金を交付する。 H20予定 活動団体数124団体（区51、子供会4、PTA41、老人会17、その他11）	古紙の集団回収活動団体に対し、1kgにつき4円の奨励金を交付する。 登録団体数176団体。	A	環境保全課
4	生ごみ堆肥化推進事業	2-1再掲 生ごみ処理容器講習会の開催と堆肥化資材を配付する。 H20予定 講習会（年35回）、配付資材（山土、チップ、粕殻等）	生ごみ処理容器講習会の開催と堆肥化資材を配付する。 H20実績 講習会（年51回）、配付資材（山土、チップ等）	A	環境保全課
5	生ごみ処理機等購入費補助金	2-1再掲 生ごみ処理機又は処理容器を購入した方に対し、購入費用の1/2（補助限度額20,000円）を補助する。 H20予定 電気式140基、非電気式20基	生ごみ処理機又は処理容器を購入した方に対し、購入費用の1/2（補助限度額20,000円）を補助する。 電気式 116基 非電気式 19基	A	環境保全課

6	資源物収集運搬及び処理事業	H20予定（掛川区域） プラスチック、白色トレイ（週1回）、かん、びん、ペットボトル、食用油、古紙、乾電池、蛍光管（月1回） H20予定（大東・大須賀区域） プラスチック、白色トレイ（週1回）、かん、びん、ペットボトル、食用油、古紙、古布、金属類、乾電池、蛍光管（月1回）	H20実績（掛川区域） プラスチック、白色トレイ（週1回）、かん、びん、ペットボトル、食用油、古紙、乾電池、蛍光管（月1回）の収集を行った。 H20予定（大東・大須賀区域） プラスチック、白色トレイ（週1回）、かん、びん、ペットボトル、食用油、古紙、古布、金属類、乾電池、蛍光管（月1回）の収集を行った。	A	環境保全課
7	分別収集奨励金	かん、びんを分別排出する自治区に対し、アルミ缶25円/kg、スチール缶、びん5円/kgの奨励金を交付する。 H20予定 交付対象205自治会	かん、びんを分別排出する自治区に対し、アルミ缶20円/kg、スチール缶、びん4円/kgの奨励金を交付する。交付対象205自治会。	A	環境保全課
8	資源物分別解体業務	旧環境保全センターに搬入された不燃物の金属回収を行う。 H20予定 金属回収量20 t	旧環境保全センターに搬入された不燃物の金属回収を行う。 H20予定 金属回収量19 t	A	環境保全課

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。

Ⅱ-3	個別目標	環境に負荷をかけない農業の推進（担当：農業振興課）			
数値目標	数値目標		現状の実績（20年度末現在）	評価	数値目標担当課
	①10aあたり窒素成分施肥量（茶）を40kgまで減らす。		平成20年度末54kg	A	農業振興課
	平成16年度 54kg	平成27年度 40kg			
	②専業農家内のエコファーマー認証取得割合を40%にする。		茶、ニンジン、温室メロンの経営体を中心に認証がされ、専業農家に占める割合は経営体192戸（34%）となった。	A	農業振興課
	平成17年度 30%	平成27年度 40%			
番号	事業名	目的	20年度実績	評価	課名
1	掛川いきいき食の会	食品の様々な問題（遺伝子組み換え食品、O-157、狂牛病etc）や「食」や地元業者の生産する「安全な食生活」を追求するために、研修・啓発活動を行う団体に活動支援を行う。	研修事業を通じて食の安全に関する知識向上を行った。 プランター野菜づくり教室、地場産の食材を使った料理教室などを通じて市民への啓発も行った。 掛川市マイバッグ運動への協力を行った。	A	環境保全課
2	エコロジーライフ研究会（補助金）	自然と共生する農林水産業及び「食」と「暮らし」の実践を通して、安心安全な生活と環境保全を推進する新しいライフスタイル構築と豊かな地域社会づくりを目的として活動している団体に活動支援を行う。	講習会、見学会、体験学習会を開催した。 有機栽培技術の安定工場研究、生ごみ処理利用法の検討、料理講習会の開催などを実施した。	A	環境保全課
3	施設園芸用廃ビニール処理費補助金	環境汚染の原因となる施設園芸用廃ビニールを、適正に処理した、市内農協に対して支援を行う。（農ビニール・ポリ、農業資材、農薬空瓶、肥料空袋ビニール、肥料空袋紙が対象）	掛川市農協・遠州夢咲農協に対し、廃ビニール処理費用について支援を行い、廃ビニールの適正処理に寄与した。	A	農業振興課
4	畜産公害対策事業補助金	家畜ふん尿に起因する畜産公害を未然に防ぐことを目的とし、畜産公害対策事業を行う畜産農家に対して支援を行う。（機械・施設、薬剤・消臭剤）	事業を実施した15農家に対し、その経費について支援を行った。	A	農業振興課

5	遠州南部とうもんの里総合案内所管理運営委託料	<p>遠州南部とうもんの里総合案内所を拠点として、農業の多面的機能を継承していくため、地域を訪れる方々及び地域住民に対して、地域で営まれる農業や農村文化や、田園風景、歴史、自然についての情報発信、体験交流に関する事業を行い、住む人が誇りを持ち、来る人との心豊かなふれあいを創造する。</p> <p>なお、指定管理者制度により、NPO法人とうもんの会が施設管理及び運営を行う。</p> <p>具体的な事業としては、季節ごとの農業体験・食加工体験、歴史・自然観察体験、各種講座の開催、朝採り昼市での農産物の販売等を実施。</p>	<p>自然観察 11回開催 参加者 231名          農業体験 8回開催 参加者 121名          食体験 10回開催 参加者 844名          風土を伝える事業 14回開催 参加者2,616名          その他講座 84回開催 参加者 819名</p>	A	農業振興課
---	------------------------	--	--	---	-------

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。

Ⅱ-4	個別目標	水循環の確保 (担当: 総務課・農業振興課・道路河川課・下水整備課・環境保全課)			
数値目標	数値目標		現状の実績 (20年度末現在)	評価	数値目標担当課
	市道における雨水浸透性舗装率を向上させる。		0.106%(1.3214Km/1250Km)	B	道路河川課
	平成16年度 0% (0km/1,250km)	平成27年度 0.12% (1.5km/1,250km)			
番号	事業名	目的	20年度実績	評価	課名
1	雨水貯留タンク設置	学校や幼稚園など公共施設に雨水貯水タンクを設置し、雨水の有効利用を図るとともに、環境教育推進を図る。市民、事業者、行政が協働で設置することにより地域環境力を高める。	企業、団体、市が協力して廃棄物を活用した雨水貯留タンクを市内の公共施設等へ設置した。 地区学習センター 1か所 福祉施設 1か所	A	環境保全課
2	造林事業補助金、流域公益保全林等整備事業、森林整備地域活動支援事業、流域循環資源林整備事業、しずおか林業再生プロジェクト推進事業、市民の森管理事業	・水源かん養機能が持続、発揮できるような森林整備を進める(1-3再掲)	枝打ち、間伐等225.65haの森林整備に対し支援。 市有林の枝打ち及び下刈り等の森林整備を1.92ha実施。	A	農業振興課
3	浸透性舗装事業	雨水を積極的に地中に浸透させることにより、下水や河川への流入防止や植生・地中生態の改善、地下水の涵養等	実績なし	B	道路河川課

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。

(3) 基本目標3 次代に残す豊かな自然を守り育てるまちづくり

Ⅲ-1	個別目標	生物多様性の保全 (担当：道路河川課・農業振興課・都市整備課・環境保全課)			
数値目標	数値目標		現状の実績 (20年度末現在)	評価	数値目標担当課
	①市民参加による自然環境調査・自然学習会を1回/年開催する。 ②希少な動物生息域数の現状を維持する。  平成16年度 ホトケドジョウ4箇所、メダカ15箇所、オオタカ4箇所、サシバ9箇所		①自然環境調査(カエル生息地)を実施し、自然学習会を1回開催した。 ②東山・板沢地区保護地区(平成19年度指定)の保全活動の実施 希少な動植物の保護(19年度に動植物15種類の指定)		A
番号	事業名	目的	20年度実績	評価	課名
1	自然環境調査事業	自然環境を継続して調査し掛川市の自然環境の現状と今後の変化を把握するため行う。専門家による調査に加え、市民ボランティアを募り市民の意識の高揚を図ることも目的としている。20年度は、カエルの調査を行う。	カエルの生息調査と海岸林の調査を実施した。 ボランティア調査 カエルの分布状況 専門家調査	A	環境保全課
2	掛川エコキッズ倶楽部 (環境基本計画実践活動補助金)	身近な自然環境に触れ、生命の不思議さ、生き物の多様さを知ること、自然環境保護と環境意識の向上を図る活動を実践している団体に活動支援を行う。	3回の観察会(満水、森町、子角山)、 ホトケドジョウの追跡観察会 5月17日高御所ホトケドジョウ生息地での田起こし手伝いホームページで広報、エコキッズカレンダーの作成	A	環境保全課
3	海岸砂防・保育事業、野生鳥獣保護事業	・市民との協働により海岸部の自然環境の保全、再生に努める。 ・野生鳥獣とその生息・生息地の保護を図る。	掛川市海岸防災林保護組合により、堆砂工を1,320m設置。植栽を3,000本実施。 傷病鳥獣保護件数 5件	B	農業振興課

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。

Ⅲ-2	個別目標	海岸部の保全（担当：道路河川課・農業振興課・都市整備課・環境保全課）			
数 値 目 標	数値目標		現状の実績（20年度末現在）	評価	数値目標 担当課
	45haある保全松林（防災林）の減少を25%以内にとどめる。		県有林の薬剤散布面積37.12ha	B	農業振興課
番号	事業名	目的	20年度実績	評価	課名
1	海岸清掃事業	平成19年6月24日実施予定 参加者 約5,000人予定（関係自治会・地元企業・菊川市等）	平成20年6月29日実施 参加者 約3,000人予定（関係自治会・地元企業・菊川市等） 16,720kgの廃棄物処理	A	道路河川課
2	遠州灘沿岸保全対策促進 期成同盟会	同盟会への負担金支出（18年2月に設立・湖西市から御前崎市までの沿岸市町で組織した同盟会であり、国、県に強く海岸保全の要望を行っていくことを主な事業としている。）	①年2回の幹事会の開催 ②総会の開催 ③関係機関（県・国交省）への要望活動 ④講演会及び交流会の開催 ⑤情報誌の発行	A	道路河川課
3	大浜海岸保全対策協議会	海岸保全等について、関係団体と協議をし推進を図っていく。	①協議会の開催	A	道路河川課
4	松くい虫防除事業、海岸 砂防・保育事業	・松枯れを防ぐため防除事業を実施し、荒廃した林に植栽を行ない機能維持に努める。 ・飛砂対策事業により砂丘の保全を図る。	薬剤散布85.02ha、伐倒駆除1,390m <sup>3</sup> 、予防剤注入398本。掛川市海岸防災林保護組合により、堆砂工を1,320m設置。植栽を3,000本実施。	B	農業振興課

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。



Ⅲ-3	個別目標	森林の保全と活用（担当：農業振興課・環境保全課）			
数値目標	数値目標		現状の実績（20年度末現在）	評価	数値目標担当課
	森林施業計画認定面積を年間50ha増加させる。		平成20年度に158.08haの認定をし、累計で642.08haとなった。	A	農業振興課
	年間増加量 50ha				
番号	事業名	目的	20年度実績	評価	課名
1	水土保全林等対策事業、林業振興事業、市民の森管理事業、林道整備事業、治山事業、森林空間活用事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水土保全林の保全と活用を図る。</li> <li>・森林と人との共生林の保全と活用を図る。</li> <li>・資源循環利用林の保全と活用を図る。</li> <li>・森林に関する学習と実行を図る。</li> </ul>	水土保全林の保全と活用のためⅠ-3、Ⅱ-4、Ⅲ-1及びⅢ-2の事業と林道整備4路線、荒廃森林復旧のため治山工事2地区を実施。 森林と人が触れ合う場の提供として、明ヶ島キャンプ場及びならここの里の施設を充実。 資源循環利用林の活用のため各種団体を支援。 森林・緑化に対する意識向上のため植樹祭を実施。 海岸林の現状をPRするため、日本海岸林学会のシンポジウムを支援。	A	農業振興課

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。

Ⅲ-4	個別目標	里地里山の保全と河川の整備 (担当：道路河川課・農業振興課・環境保全課)			
数値目標	数値目標		現状の実績 (20年度末現在)	評価	数値目標担当課
	①市管理河川総延長の内、多自然型河川整備を行った区間の割合を増加させる。		2.42%(9.678Km/400Km)	C	道路河川課
	平成16年度 2.25% (9km/400km)	平成22年度 3% (12km/400km)			
	②認定農家への農地集積面積を増加させる。		平成20年度に123haを認定農業者へ集積し、累計で1,427haとなった。	B	農業振興課
平成17年度 1,160ha (H18.1現在)	平成27年度 1,210ha				
番号	事業名	目的	20年度実績	評価	課名
1	有害獣被害防止対策事業 事業補助金	有害獣(イノシシ等)による農作物や農地への被害防止のための設備を設置する農家に対して支援を行う。	74件の申請を受け、電気柵等の被害防止対策を講じた農家へ補助金を交付した。	A	農業振興課
2	川・池・魚を愛する事業 補助金	川や池の美化及び愛護活動、魚の放流等、水環境及び水産資源を守り育てる事業に対して支援を行う。	川・池の美化、水産資源の愛護及び放流事業に対し支援を行った。	A	農業振興課
3	中山間地域等直接支払事業	耕作条件が不利な中山間地に対し、交付金を交付し、営農継続と、農村と農地の適正な管理を支援し、農業・農村の持つ多面的機能の維持、増進を図る。	交付対象面積165ha	A	農業振興課
4	遠州南部とうもんの里総合案内所管理運営委託料	Ⅱ-3-5再掲			農業振興課
5	農業用河川工作物応急対策事業負担金	原野谷川の頭首工(正道)に魚道を設置する H21~22年度整備	頭首工実施設計一式(事業費10,500千円)	A	農業振興課
6	老朽溜池等整備事業	田ヶ池に水循環用パイプライン布設、周遊道路の整備 田ヶ池(H18~H20)、細身ヶ谷池(H20~H22)	田ヶ池及び細身ヶ谷池の実実施設計 田ヶ池(管理道L=179m、駐車場A=709㎡、広場整備一式)	A	農業振興課
7	河川愛護事業	河川堤防等の草刈りを実施した愛護団体に対して支援を行う。 (謝礼、草刈機借上料)	愛護団体152団体 2,083,908㎡施工	A	道路河川課

8	有害鳥獣駆除事業	・野生動物による農作物被害の防止を図る。	有害鳥獣捕獲件数 13件	—	農業振興課
9	都市景観啓発事業	都市景観写真の募集と景観講座の開催	地元NPOと協働で延べ3回の市民講座を開催	A	都市整備課
10	逆川左岸への彼岸花の植栽事業	緑の精神回廊事業の一環として、逆川左岸（十九首、十王、西町）への彼岸花の植栽を行う。	H20年度からは右岸川についても鳥居町地内（合流部）から上流方向への植栽を開始。	A	都市整備課

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。

Ⅲ-5	個別目標	自然とふれあう空間の創造 (都市整備課・農業振興課・道路河川課・生涯教育課)			
数値目標	数値目標		現状の実績 (20年度末現在)	評価	数値目標担当課
	一人当たりの公園の整備面積 (都市公園面積/人口) を広げる。		13.99㎡/人 (169.09ha/120,905人)	A	都市整備課
	平成16年度 13.67㎡/人 (163.7ha/119,739人)	平成22年度 14.68㎡/人 (168.8ha/115,000人)			
番号	事業名	目的	20年度実績	評価	課名
1	22世紀の丘公園建設事業	22世紀の丘公園建設事業(～平成21年度)	・大型複合遊具、健康遊具、多目的広場等の整備工事を実施。 ・A=7,780㎡追加供用する。(全供用面積A=66,443㎡)	A	都市整備課
2	緑地協定の締結	開発行為、土地利用による緑地協定の締結による緑化の推進。 締結件数5件	開発行為、土地利用による緑地協定の締結による緑化の推進を図った。 締結件数10件	A	都市整備課
3	生け垣設置補助事業	生け垣を設置する者に対し、設置費用の一部を補助し、市民が健康で快適な生活できるような環境づくりの推進をする。 設置件数57件 目標件数 毎年40件	生け垣を設置する者に対し、設置費用の一部を補助し、緑化の推進を図った。 設置件数44件	A	都市整備課
4	保存樹木保存樹林の指定	保存樹木・保存樹林の指定をし、自然環境の重要性と必要性を考える。 指定本数 73本 樹林 14箇所	保存樹木・保存樹林の指定をし、緑の保全及び緑化推進活動の意識を啓蒙した。 指定本数 76本 樹林 14箇所	C	都市整備課
5	グリーンキャンペーン開催費	市民の緑化意識の高揚を図ると共に市と市民が一体となり花と緑の環境づくりをする 参加人数20,000人 目標人数20,000人	市民の緑化意識の高揚を図ると共に市と市民が一体となり花と緑の環境づくりを推進した。参加人数30,000人	A	都市整備課
6	フラワーフェスティバル開催費	市民の緑化意識の高揚を図ると共に市と市民が一体となり花と緑の環境づくりをする 参加人数10,000人 目標人数20,000人	市民の緑化意識の高揚を図ると共に市と市民が一体となり花と緑の環境づくりを推進した。参加人数10,000人	C	都市整備課

7	緑化部会支援費	市内の各部会を支援し花と緑の環境づくりを推進する。 緑化部会数201部会 目標部会数毎年10部会数の増	自治区毎の緑化部会設置を推進し市民による地域の緑化、花いっぱい運動を推進した。緑化部会数202部会	C	都市整備課
8	緑の精神回廊事業	防災と美観の公共空間を兼ね備えた緑あふれる歩道のネットワークとして、緑の精神回廊の整備を図る。 進捗率73.85% 目標進捗率73.85%	・公園事業（竹の丸庭園整備、倉真川合流部公園整備）を実施。 ・高質空間形成（城内道路修景整備、案内板整備）を実施。 ・既存建造物活用（竹の丸修復）を実施。	A	都市整備課
9	自然環境講座	多くの市民が自然環境への関心を高めながら知識を習得する自然環境学習の機会を創出する。	市の有識者を講師に親子で自然に親しむ講座として実施した。 ①「ムササビの観察会」 ②「葛から紙を作ってみよう」 ③「水中生物を調べて水の汚れを調べよう」	A	環境保全課
10	遠州南部とうもんの里総合案内所管理運営委託料	Ⅱ-3-5再掲			農業振興課
11	生涯学習アドバイザー活動	初心者のための登山教室	初心者を対象に山歩きの基本と楽しさを学んだ。4回シリーズ延べ60人参加。	A	生涯教育課
12	野外活動講座	親子で楽しむ野外体験（釣りなど）を通して、参加者の環境美化への認識を深める。	親子で竹竿を作り、ならこの里キャンプ場付近の川で魚釣りを行い、環境美化への認識を深めた。参加者25組。	A	生涯教育課
13	自然環境審議会	掛川市自然環境保全条例に基づき、保護すべき種や地域の指定等に関する事項を審議する。今年度は、専門家以外に市民、事業者からも委員を依頼し、広く自然環境と希少動植物の保護を推進する。	大型風力発電審議、南北道路審議、及び現場調査 審議会開催 5回	A	環境保全課
14	掛川市の環境（環境白書）	公害関係、自然環境、廃棄物等の状況をまとめ、関係各方面で様々な形で活用することで、市内の環境を理解し、環境意識の高揚を図るために発行する。	平成19年度における市の環境施策や大気、水質、廃棄物等の状況を白書としてまとめた。作成した冊子は市内中学校、高等学校、各図書館等に配布した。また、ホームページでも公開し、広く情報提供を図った。	A	環境保全課

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。

(4) 基本目標 4 安全で良好な生活を守るまちづくり

IV-1	個別目標	生活排水の浄化推進 (担当: 下水整備課・商工労働観光課・環境保全課)			
数値目標	数値目標		現状の実績 (20年度末現在)	評価	数値目標担当課
	①汚水衛生処理率 (市の人口にしめる、公共下水道・農業集落排水施設・合併処理浄化槽コミュニティプラントにより下水が処理されている人口の割合) を向上させる。		汚水衛生処理率=43.3%	B	下水整備課
	平成16年度 46%	平成27年度 73%			
	②調査測定値 (年間平均BOD値) を減少させる。		環境基準を上回っている河川 なし	A	環境保全課
・逆川 (長谷橋) 平成16年度…3.0mg/L→平成27年度…2.0mg/L ・菊川 (菊川橋) 平成16年度…1.5mg/L→平成27年度…1.5mg/L					
番号	事業名	目的	20年度実績	評価	課名
1	環境実態調査事業(河川等水質調査)	掛川市の環境の監視のため、河川の水質及び農業用ため池の水質について定期的に定点観測を実施。27河川36地点年6回、6池2橋年3回水質調査	掛川市の環境の監視のため、河川の水質及び農業用ため池の水質について定期的に定点観測を実施。27河川34地点年6回、6池2橋年3回水質調査を実施した。	A	環境保全課
2	太田川水系の水をきれいにする会(負担金)	太田川水系における水質及び環境の保全を図り、太田川水系の水をきれいにすることを目的とする。水質実態調査、水生生物調査等の実施	太田川水系における水質及び環境の保全を図り、太田川水系の水をきれいにすることを目的とする。水質実態調査、水生生物調査等を実施した。	A	環境保全課
3	菊川水系水質汚濁対策連絡協議会	菊川水系の河川及び水路に係わる水質汚濁対策に関する関係機関相互の連絡調整を図ることを目的とする。	菊川水系の河川及び水路に係わる水質汚濁対策に関する関係機関相互の連絡調整を図った。	A	環境保全課

4	浄化槽設置補助金事業	集合処理地域以外の地域で浄化槽事業を行う者に対して補助金を交付する。	353基の設置者に対して補助金を交付した	A	下水整備課
5	雨水貯留施設補助金事業	公共下水道への接続等に伴い浄化槽を雨水貯留施設に転用するものに対して補助金を交付する。	公共下水道区域で8件、農業集落排水区域で1件、浄化槽市町村設置推進区域で1件 合計10件の補助金交付を行った	A	下水整備課
6	公共下水道事業	生涯学習都市宣言のまちとして生涯を通し、環境への優しさを学習し整備の遅れている人口集中地域の公共下水道施設を整備する事業	整備面積A=51ha 整備率：(掛川) 18.5% (大東) 81.6% (大須賀) 44.4%	B	下水整備課
7	農業集落排水事業	農業用水の水質保全、農業用排水施設の機能維持又は、農村の生活環境の改善を図り、併せて公共水域の水質保全による、し尿、生活雑排水等の汚水汚泥を処理する施設を整備する事業	管路工L=549m 整備率(～H20) 95%	B	下水整備課
8	市町村設置推進事業	集合処理地域以外の地域で生涯学習まちづくり土地条例の協定が締結された地域より市が個人の宅地内に浄化槽を整備していく事業	倉真・上垂木・中地区において112基を設置した	B	下水整備課

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。

IV-2	個別目標	安全な食の確保 (担当：農業振興課・環境保全課)			
数値目標	数値目標		現状の実績 (20年度末現在)	評価	数値目標担当課
	安心安全な食に関する学習会を年1回以上開催する。		掛川いきいき食の会との共催による学習会 年3回開催	A	環境保全課
番号	事業名	目的	20年度実績	評価	課名
1	掛川市食品衛生協会補助金	食品業者により構成されている団体で、食中毒予防・公衆衛生に努めるとともに、トレー回収事業などのリサイクル活動等の環境保全活動を実施。食品衛生講習会、食品業者健康診断(保菌検査)、食中毒防止の啓発活動の実施。	会員数964件、特別会員30件、賛助会員32件 平成20年度市内の食中毒発生件数なし	A	環境保全課
2	道の駅掛川地産地消推進協議会補助金	生産者や製造者に対し、安心・安全な食品の生産・製造について指導している「道の駅掛川地産地消推進協議会」に対して支援を行う。	販売作物作付け講習回(月1回) 類似施設視察研修会(年1回)	A	農業振興課
3	遠州南部とうもんの里総合案内所管理運営委託料	Ⅱ-3-5再掲			農業振興課

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。



IV-3	個別目標	不法投棄の対策（担当：環境保全課）			
数値目標	数値目標		現状の実績（20年度末現在）	評価	数値目標担当課
	①かけがわ美化推進ボランティア登録件数を増加させる。		平成20年度登録件数 80件	A	環境保全課
	平成16年度 42件	平成27年度 80件			
	②不法投棄による廃棄物回収量を減少させる。		平成20年度回収実績 37,515kg	A	環境保全課
平成16年度 93,320kg	平成27年度 5,000kg				
番号	事業名	目的	20年度実績	評価	課名
1	不法投棄対策事業	H20予定 不法投棄防止看板及び防止ネットの配付。指定ごみ袋の配付。不法投棄物の回収。処理困難物の処理。	不法投棄防止看板及び防止ネットの配布。指定ごみ袋の配布。不法投棄物の回収。処理困難物の処理。	A	環境保全課
2	かけがわ美化推進ボランティア事業	企業や団体、個人などがボランティアとして、公共スペースのポイ捨てごみの回収や回収困難な不法投棄の情報提供を行う。 H20予定 活動55団体	企業や団体、個人などがボランティアとして、公共スペースのポイ捨てごみの回収や回収困難な不法投棄の情報提供を行う。 H20実績 活動80団体	A	環境保全課

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。

IV-4	個別目標	工場からの公害のない安全な暮らしの保全 (担当：商工労働観光課・環境保全課)			
数値目標	数値目標		現状の実績 (20年度末現在)	評価	数値目標担当課
	工場事業所が原因の苦情の解決率を98%以上に維持する。		公害苦情件数 146件 内訳 (大気5、水質8、騒音14、悪臭102(野焼き59、悪臭28、焼却炉15)、廃棄物0、空き地管理12、その他5)	A	環境保全課
番号	事業名	目的	20年度実績	評価	課名
1	公害特定施設管理	ばい煙や汚水を排出する又は騒音や振動を発生させる工場等は、それぞれの法律や県条例で、一定規模以上のもの、あるいは業種により事前に届出が必要である。事業所から市経由で県に届出する。	特定施設届出件数 2,059件 施設数 12,789件	A	環境保全課
2	公害、苦情等調査委託	公害苦情発生時において、問題解明の際に必要な環境調査を行う。公害、苦情調査、アスベスト調査を実施する。	公害苦情発生時において、問題解明の際に必要な環境調査を行う。公害、苦情調査を実施した。	A	環境保全課
3	道路騒音、振動調査事業	騒音規制法第21条の2及び振動規制法第19条に基づき、市内主要幹線道路の沿線地域における騒音及び振動の実態把握をするため騒音振動の測定を行う。市内10箇所において機械による24時間連続自動測定を実施	騒音規制法第21条の2及び振動規制法第19条に基づき、市内主要幹線道路の沿線地域における騒音及び振動の実態把握をするため騒音振動の測定を行う。市内10箇所において機械による24時間連続自動測定を実施した。	A	環境保全課

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。

IV-5	個別目標	快適な暮らしの保全 (担当：環境保全課)			
数値目標	数値目標		現状の実績 (20年度末現在)	評価	数値目標担当課
	生活型苦情解決率を98%以上に維持する。		公害苦情件数 146件 内訳 (大気5、水質8、騒音14、悪臭102(野焼き59、悪臭28、焼却炉15)、廃棄物0、空き地管理12、その他5)	A	環境保全課
番号	事業名	目的	20年度実績	評価	課名
1	アスベスト対策事業	公共施設アスベスト対策については、施設管理、解体、除去工事について指導を行う。民間施設アスベスト対策については、使用状況の現状把握、市民相談、飛散防止措置を推進する。	民間施設アスベスト対策、使用状況の現状把握、除去工事立入調査4件、市民相談0件	A	環境保全課
2	畜犬登録注射	狂犬病予防法に基づき飼い犬の登録と年1回の予防接種が所有者に義務付けている。市では犬の登録と狂犬病注射済票の交付事務を行う。	狂犬病予防法に基づき飼い犬の登録と年1回の予防接種が所有者に義務付けられている。市では犬の登録と狂犬病注射済票の交付事務を行った。登録頭数9,206、注射頭数7,372、実施率80.0%。人とペットとの共生ガイド作成。	A	環境保全課
3	動物愛護法関連業務(犬・猫死体処理)	環境の保全及び動物の愛護のため、迷い犬及び猫の保護と公衆衛生のため公道上の動物の死骸処理を行う。	環境の保全及び動物の愛護のため、迷い犬及び猫の保護と公衆衛生のため公道上の動物の死骸処理を行った。死骸回収709件、保護回収91件、一時飼育115件	A	環境保全課
4	掛川畜犬愛護会補助金	狂犬病予防業務に協力して狂犬病予防法の円滑な施行に寄与するとともに、畜犬の正しい飼育管理を啓蒙し動物愛護思想の向上を図る。	会員数5,443件、飼い方教室の開催13組参加、避妊去勢手術補助金交付90件、フン公害防止看板の設置162枚、飼い方指導(城西他)。	A	環境保全課

5	県動物保護協会負担金	県内の市町、獣医師会、動物愛護団体等と連携して、人と動物の共存する豊かな環境づくりを目的に活動する静岡県動物保護協会に対して負担金を交付する。	県内の市町、獣医師会、動物愛護団体等と連携して、人と動物の共存する豊かな環境づくりを目的に活動する静岡県動物保護協会に対して負担金を交付した。	A	環境保全課
6	害虫駆除防疫事業	衛生害虫の駆除のため殺虫剤を配付し、地域の環境衛生の向上に努める。災害時の地域の消毒のための薬剤を配付し防疫努める。	交付団体68団体、市補助金額461,000円	A	環境保全課
7	富士見台霊園の管理	市民に終の棲家である墓所を提供し、安心して暮らせるようにする。また、墓参に来た方が快適に過ごせるよう公園の機能を充実、施設の適正な維持管理に努める。	緑化管理委託、霊園管理委託（園内清掃）	A	環境保全課
8	富士見台霊園の整備	9号墓域通路の舗装、手摺りの塗装、水汲み場の設置	園路舗装他	A	環境保全課
9	富士見台霊園の拡張整備	12号墓域拡張工事（墓域面積609㎡、70区画）	1 3号墓域拡張測量設計	A	環境保全課
10	市内墓地の管理	墓地埋葬法に基づく埋葬、改葬の手続きの実施。宗教法人等の管理する墓地の許可等届出事務の実施	改葬許可41件、経営許可3件、墓地廃止4件	A	環境保全課
11	東遠地区聖苑組合	火葬場建設、設置、管理及び運営に関する事務を菊川市と共同処理する。	死体火葬数1,004件、犬259件	A	環境保全課
12	(新) 掛川猫サポーター倶楽部 補助金	地域猫の取り組みを中心に、人間と猫との共生により良好な生活環境の構築と猫の正しい使用による生活文化の向上を図る。	地域猫の取り組みを中心に、人間と猫との共生により良好な生活環境の構築と猫の正しい使用による生活文化の向上を図った。地域猫活動2地区、野良猫避妊去勢手術108件、出前講座4回	A	環境保全課

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。

IV-6	個別目標	景観・歴史的環境の保全（担当：都市整備課・生涯教育課・地域振興課）			
数値目標	数値目標		現状の実績（20年度末現在）	評価	数値目標担当課
	①指定文化財を増やす。		指定文化財数 109件	C	生涯教育課
	平成16年度 105件 → 平成27年度 130件				
	②景観を保全する特別計画協定区域・地区計画区域を増やす。		地区計画実績(H20末)は13地区で変動無し(都市整備課) 特別計画協定区域は、現在17区域である(地域振興課)	C	地域振興課 都市整備課
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別計画協定区域 平成16年度 7カ所 → 平成27年度 15カ所</li> <li>・地区計画区域 平成16年度 13カ所 → 平成27年度 16カ所</li> </ul>					
番号	事業名	目的	20年度実績	評価	課名
1	遠州南部とうもんの里総合案内所管理運営委託料	Ⅱ-3-5再掲			農業振興課
2	良好な生活環境の確保に関する条例	平成18年4月1日施行。生活環境を保全するため、良好な生活環境の確保に関する条例のPRと併せ野焼き、悪臭、騒音などの苦情に対し、原因の調査と改善指導等を行う。	(再掲) 平成18年4月1日施行。条例のPRと併せ野焼き、悪臭、騒音などの苦情に対し、原因の調査と改善指導等を行った。環境保全委員研修会などの研修会で条例のPRに努めた。	A	環境保全課
3	掛川市の環境（環境白書）	公害関係、自然環境、廃棄物等の状況をまとめ、関係各方面で様々な形で活用することで、市内の環境を理解し、環境意識の高揚を図るために発行する。	平成19年度における市の環境施策や大気、水質、廃棄物等の状況を白書としてまとめた。作成した冊子は市内中学校、高等学校、各図書館等に配布した。また、ホームページでも公開し、広く情報提供を図った。	A	環境保全課

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。

(5) 基本目標5 みんなで学び地域で取り組むまちづくり

V-1	個別目標	学校における環境教育の推進 (担当：学校教育課)			
数 値 目 標	数値目標		現状の実績 (20年度末現在)	評価	数値目標 担当課
	資源ギャラリーなどの環境施設を利用した環境学習を全小学校が年1回以上開催する。		環境資源ギャラリー見学小学校数 19校 生物循環パビリオン見学小学校数 2校	B	学校教育課
番号	事業名	目的	20年度実績	評価	課名
	※該当事業なし				

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。

V-2	個別目標	市民における環境教育の推進（担当：商工労働観光課・環境保全課・生涯教育課）			
数値目標	数値目標		現状の実績（20年度末現在）	評価	数値目標担当課
	環境に関する講座イベント等を年間5回以上開催する。		太陽エネルギー講座、ごみの分別についての勉強会、環境にやさしい地域社会づくりなどの学習会を開催した。	A	生涯教育課
番号	事業名	目的	20年度実績	評価	課名
1	環境保全事業補助金	掛川市環境基本計画に基づいて、地球温暖化防止や自然環境保護等の環境保全活動を実践する市民の団体や地区での活動に対して補助を行い、市民の活動を推進・支援する。	地域や団体が行う、環境学習や雨水タンクの設置などの環境保全活動に対して13団体、887千円に対し補助金の交付を行うことで、地域での環境保全活動の支援を図った。	A	環境保全課
2	環境を考える市民の集いとかけがわ環境展	身近な環境に対する市民の意識を高め、環境に負荷が少ない生活を推進していくために、子どもから高齢者までのすべての市民が一緒になって学習発表、活動報告、講演会を行う環境学習として開催する。	平成21年3月1日（日）に開催した。表彰や小中学校の研究発表、企業の活動発表を行った、約1500名の参加者があった。参加者に対するアンケートの集計結果では、環境に対する意識啓発につながった、という回答が全体の9割以上を占めた。	A	環境保全課
3	清掃作業車両借り上げ料補助	自治会が下水路の清掃作業等を実施するにあたり、有料で運搬車両を借り上げた場合について補助金を交付し、地域の害虫駆除及び環境絵雨声の向上の促進を図る。交付団体予定地区数100地区	交付団体 68件	A	環境保全課
4	遠州南部とうもんの里総合案内所管理運営委託料	II-3-5再掲			農業振興課

5	掛川市消費者協会補助事業	消費者に対し消費に関する正確な知識の普及、及び家庭生活における、地球温暖化防止、環境保全、省資源・省エネ活動事業を推進する掛川市消費者協会の活動に支援を行う。	視察研修：もんじゅ（福井県）、トーエイリサイクルセンター（愛知県）、揖斐川町包装容器（岐阜県） マイバッグ持参率調査（4回） 大気中のNO <sub>2</sub> 調査（66ヶ所 2回） 水生生物調査 くらしのニュース発行（4回） 掛川市消費生活展に出展 ほか	A	商工労働観光課
6	消費生活展事業	掛川市消費生活展において、家庭生活における、地球温暖化防止、環境保全、省資源・省エネ等を啓発する。	開催日 11月16日（日） 会場 掛川市生涯学習センター 参加団体 30団体 内容 参加団体の消費生活等に関する研究発表・展示、消費生活に関連した体験・相談コーナー、農産物販売等を行い、来場者に対し必要性や効果等の啓発を行った。	A	商工労働観光課
7	掛川市民大学校	人づくり講義の中で環境についての講義	「地球温暖化と循環型社会について考える」というテーマで、講師に静岡県環境資源協会事務局長の平井一之氏を迎え講義を行った。	A	生涯教育課
8	生活学校	廃油利用固形石鹼作り。美化活動。消費生活展の展示。	環境の保護・保全について意識を高めた。	A	生涯教育課
9	青少年教室	環境について考える動機付けを行う。	小学生を対象に環境講座(4回シリーズ)を実施した。	A	生涯教育課
10	環境教育のための人材育成	市教育センターの指導技術研修の自然観察研修等を通して、教員の指導力の向上を図る。	研修名「子どものための『自然観察』」 1回開催 7名参加	A	学校教育課
11	環境教育事業の推進	市教育センターの指導技術研修の花壇研修等を通して、学校緑化環境の充実に努めることができるようにする。	研修名「花壇研修」 2回開催 72名参加	A	学校教育課

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。



V-3	個別目標	地域の環境学習の推進（担当：地域振興課・環境保全課）			
数値目標	数値目標		現状の実績（20年度末現在）	評価	数値目標担当課
	環境基本計画に関連する項目を含む特別計画協定区域件数を増やす。		特別計画協定区域は、現在17区域である。	A	地域振興課
	平成16年度 15件	平成27年度 23件			
番号	事業名	目的	20年度実績	評価	課名
1	まちづくり計画策定事業	生涯学習まちづくり土地条例に基づき、河川美化や快適な住環境づくりを目指すまちづくり計画を策定する。	東山口地区では、清らかな水に囲まれた豊かな自然環境を守るため、水質浄化を推進するため『東山口地区特別計画協定(水質浄化)』を締結した。	A	地域振興課
2	環境保全委員研修会等	地域で活動する環境保全委員、クリーン推進員の委嘱式・研修会を開催する。	環境保全委員、クリーン推進委員の研修会を実施 5/20 学習センター 5/21 シオーネ（出席者 700名） 新エネルギーフォーラム 1/14 シオーネ（出席者 570名）	A	環境保全課
3	エコロジーライフ研究会（補助金）	自然と共生する農林水産業及び「食」と「暮らし」の実践を通して、安心安全な生活と環境保全を推進する新しいライフスタイル構築と豊かな地域社会づくりを目的として活動している団体に活動支援を行う。	講演会、見学会の開催 体験学習会の開催（農業体験、自然とのふれあい学習、生産物料理教室） 有機栽培技術の安定向上 生ごみの処理、利用法の検討 料理講習会の開催 バイオ資源の有効利用と里山の環境保全・安全健康加工食品の開発普及 有機生産物の流通体制の安定化	A	環境保全課

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。

V-4	個別目標	事業所における環境学習の推進（担当：商工労働観光課・環境保全課）			
数 値 目 標	数値目標		現状の実績（20年度末現在）	評価	数値目標 担当課
	従業員100人以上の事業所について、ISO14001又はエコアクション21の認証取得率を100%とする。		ISO14001取得事業所 59社 エコアクション21取得事業所 15社	A	環境保全課
	平成17年度 76.4%	平成27年度 100%			
番号	事業名	目的	20年度実績	評価	課名
1	(再掲) 市民力による環境ISO推進支援事業	ISOやEA21等の取得・運用についてアドバイス等を行える市民を募集し、希望事業所へ市が仲介することで、環境マネジメントシステム取得・運用の支援を行う。	ISOボランティア事業として、事業所のEA21取得支援を中心として、市役所や環境資源ギャラリーのEMS維持管理にも従事してもらった。 掛川市役所のEMS推進について、推進員・実行責任者に対する研修会を2回実施した。	A	環境保全課
2	(再掲) エコアクション21認証一斉取得支援	ISO14001と比較し人的・物的コストが安く、取り組む内容が平易なEA21について、認証取得希望事業所に対して無償コンサルティングすることで、認証の取得を支援する。	自治体イニシアティブ事業として実施し、19社が参加した。（うち掛川市15社） 20年度末時点で、9社が認証取得済み、6社は継続中、3社は中止、1社は未定である。	A	環境保全課
3	(再掲) ISO14001・EA21認証取得事業所連絡会	ISO14001・EA21を取得している市内事業所の連絡会を設置し、地球温暖化防止をはじめ環境全般に関する情報交換の場とし、市内の環境配慮活動の推進と啓発を目的とする。	6月に第1回全体会を、9月に第2回全体会を開催。11月には県外視察研修を実施した。 また、参加事業所には、「地球温暖化対策地域推進計画」の説明会を実施すると共に、STOP温暖化パートナーシップ協定を呼びかけた。	A	環境保全課

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。

V-5	個別目標	環境団体の活動推進 (担当：環境保全課)			
数 値 目 標	数値目標		現状の実績 (20年度末現在)	評価	数値目標 担当課
	掛川市エコ・ネットワーキング参画環境団体数を増やす。		24団体	A	環境保全課
	平成16年度 22団体	平成27年度 30団体			
番号	事業名	目的	20年度実績	評価	課名
1	掛川エコ・ネットワーキング	市内の環境保全活動団体が、それぞれの活動計画の周知や共同での活動など調整を行い、それぞれの活動を有機的に結びつけ、より一層環境保全への取り組みが深まることを目的に運営する。	各環境団体の連絡調整の活用と「環境を考える市民の集い」の企画運営	A	環境保全課
2	環境かけがわの会 (環境基本計画実践活動補助金)	掛川市の自然環境、清潔で安らぎのある生活環境、及び伝統ある歴史の保全に努め、いつまでも住みたい風土の保全と想像に寄与することを目的として活動している団体に対して活動支援を行う。	里山作業(8回) ・アカウミガメの放流会及び海岸美化活動(8/31) 各種講演会、学習会、講座への参加等 小笠山ハイキング道の草刈り整備	A	環境保全課
3	掛川エコキッズ倶楽部 (環境基本計画実践活動補助金)	身近な自然環境に触れ、生命の不思議さ、生き物の多様さを知ること、自然環境保護と環境意識の向上を図る活動を実践している団体に活動支援を行う。	3回の観察会(満水、森町、子角山)、ホトケドジョウの追跡観察会 5月17日高御所ホトケドジョウ生息地での田起こし手伝い ホームページで広報、エコキッズカレンダーの作成	A	環境保全課

4	掛川いきいき食の会 (環境基本計画実践活動補助金)	食品の様々な問題(遺伝子組み換え食品、O-157、狂牛病etc)や「食」や地元業者の生産する「安全な食生活」を追求するために、研修・啓発活動を行う団体に活動支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有機肥料、無農薬栽培での野菜作り(自宅学習)</li> <li>・日本食の基本を学ぶ料理実習(6月・2月)</li> <li>・日本の伝統行事と食について学習会</li> <li>・心と体を健康にする安心、安全な野菜作り教室</li> <li>・循環型有機農業、福津農園視察研修</li> </ul>	A	環境保全課
5	農地・水・環境保全対策事業	地域の農業者、住民、団体などを対象に農業の多面的機能を活用し地域の活性化を図る活動の補助を行う。	実施事業なし	D	環境保全課
6	環境審議会	環境基本条例に基づく組織で、市民、環境団体、事業者、学識経験者の20人で構成し、環境の保全と創造に関する基本的事項を調査審議することを目的としている。(委員報酬、委員会運営費)	環境基本計画の進行管理を行うため、市の環境施策と予算決算について審議した。また、環境施策への提言をした。 ※審議会開催 2回	A	環境保全課
7	自然環境審議会	掛川市自然環境保全条例に基づき、保護すべき種や地域の指定等に関する事項を審議する。今年度は、専門家以外に市民、事業者からも委員を依頼し、広く自然環境と希少動植物の保護を推進する。	大型風力発電審議、南北道路審議、及び現場調査 ※審議会開催 5回	A	環境保全課
8	掛川市の環境(環境白書)	公害関係、自然環境、廃棄物等の状況をまとめ、関係各方面で様々な形で活用することで、市内の環境を理解し、環境意識の高揚を図るために発行する。	平成19年度における市の環境施策や大気、水質、廃棄物等の状況を白書としてまとめた。作成した冊子は市内中学校、高等学校、各図書館等に配布した。また、ホームページでも公開し、広く情報提供を図った。	A	環境保全課

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。